

## 自己評価報告書

平成23年 5月22日現在

機関番号：11101

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2011

課題番号：20530840

研究課題名(和文) 津軽ねぶた・ねぶたの教育化～調査研究とカリキュラム開発～

研究課題名(英文) Tsugaru Nebuta・Neputa of educationalize～Survey Research and Curriculam Development～

研究代表者

大谷 良光 (OTANI YOSHIMITSU)

弘前大学・教育学部・教授

研究者番号：40333702

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：教科外教育、地域との連携、地域の伝統行事、特別活動領域

## 1. 研究計画の概要

本研究は、二つの研究目標で構成される。前半は調査研究、後半はカリキュラム開発とその普及である。

(1) 調査研究では、予備調査を踏まえねぶた・ねぶたに関わる「学校調査」、「教師意識調査」「子ども意識尺度調査」「子ども関わり調査」を実施し、分析・考察を行う。

(2) カリキュラム開発とその普及では、調査結果を踏まえ多くの子どもたちが製作・制作を行うことができるねぶた本体・前ねぶた・灯ろうねぶた等とカリキュラムを、教育課程の教科、特別活動、「総合的時間」等に対応させ、学校教員とねぶた師弟子、サポート学生、学部教員の協働で開発し、実験授業を実施しその教育的効果と子どもの変容を検証し、それらの成果をまとめて県内学校に届け普及を図る。

## 2. 研究の進捗状況

### (1) 調査研究の進捗状況

「子どもの祭への意識尺度調査」「祭への子ども関わり調査」「ねぶた・ねぶたと学校教育との関わり調査」は、報告書を作成し提言を各市と祭実行委員会に行った。調査の中で、祭運行団体と学校との関わりを明らかにする必要性を認識し、両市の運行団体調査を各市担当者の協力の下で実施した。また、合わせて青森ねぶたの課題であった高校生の参加について調査を行った。ただし、計画していた教師の意識調査は取り止めた。

初年度に集計した「ねぶた・ねぶたと学校教育との関わり調査」がその後どのように変化しているかと地域を挙げての取組で観覧者が増えている五所川原市の立佞武、黒石市の黒石ねぶたと学校との関わりと4市の比較検討の必要性から2010年度に再調査を実施した。現在報告書をまとめている。

(2) カリキュラム開発とその普及の進捗状況

「学校調査」から明らかになった、ねぶた・ねぶたを積極的に学校教育に取り組んでいる学校、各市小・中・高各1校、計6校を継続的に訪問して聞き取り調査を行った。この結果については現在継続調査を行いつつ、報告書をまとめている。

さらに、これらの結果からカリキュラムを作成し、2011年度の6月から弘前市立北小学校4年生を対象に実験授業を行う。前ねぶたの製作・制作を行い、学校内の祭に参加する。そのため現在、道具、教材の準備を進めている。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

調査研究は第2回目の「学校調査」の報告書作成を残しほぼ終了した。そして、カリキュラム開発のための実験授業の段取りまでたどり着くことができた。

## 4. 今後の研究の推進方策

(1) 「学校調査」の報告書を作成し記者会見を行う。その後大学の紀要に投稿する。

(2) 制作から祭までの実験授業を行い、データを収録。その後評価・検討を行う。

(3) 学校でねぶた・ねぶたに取り組んで

いる実施校の取組内容の報告書を作成する。  
(4) 全体のまとめを行い、Web ページにその結果を掲載する。また、普及用パンフを印刷して関係団体に配布する。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計3件)

① 立田健太・佐藤紘昭・大谷良光、「ねぶた祭への高校生の観覧・参加状況と祭への意識(思い)調査～ハネト若者離れを焦点として～」、『弘前大学教育学部紀要』102号、2009年、pp.105-114、査読無

② 立田健太・大谷良光・大野絵美、「青森ねぶた運行団体と子ども・学校との関わりの実態～大型・子ども・地域ねぶた運行団体を対象とした調査～」、『弘前大学教育学部紀要』102号、2009年、pp.115-124、査読無

③ 三浦俊一・大谷良光・立田健太、「弘前ねぶた運行団体と子ども・学校との関わりの実態と意識」、『弘前大学教育学部紀要』102号、2009年、pp.125-132、査読無

[学会発表] (計0件)

[図書] (計0件)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：

国内外の別：

[その他]

◎報告書

① 大谷良光、立田健太、「青森ねぶた・弘前ねぶたの子ども意識と祭への子どもの『思い』調査報告書～青森市・弘前市公立小中学校4000名～」、2008年、pp.1-35、Web ページ掲載

◎提言

①提言先：青森市市長、青森市ねぶた祭実行委員会、青森市教育委員会、「青森ねぶた運行団体と子ども・学校との関わり調査の報告概要と提言」、2009年7月9日

②提言先：弘前市市長、弘前市教育委員会、「弘前ねぶた運行団体と子ども・学校との関わり調査報告概要と提言」、2009年7月7日

③提言先：青森ねぶた祭実行委員会、「ねぶた祭『ハネト若者離れ問題』の調査結果報告」、2009年5月14日

④提言先：青森市ねぶた祭実行委員会、同運営団体協議会、「小中高校生のねぶたへの意識と祭への思い(意見)の概要報告と提言」、2008年7月10日

⑤提言先：弘前市市長、弘前市教育委員会、「小中高校生のねぶたへの意識と祭への思い(意見)の概要報告と提言」、2008年7月7日

◎報道関連情報

①上記提言①②の記者会見内容を、地方紙2社、全国紙地方版3社、テレビ2社で報道

②上記提言③の記者会見内容を、地方紙3社、全国紙地方版4社、テレビ2社で報道

③上記提言③を踏まえて、地方紙「陸奥新報」が社説で「弘前ねぶたー学校と地域の連携を考えたい」(タイトル)で取り上げた

④上記提言④⑤の記者会見内容を、地方紙4社、全国紙地方版4社、テレビ3社で報道

◎ホームページ情報

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/ootani/>